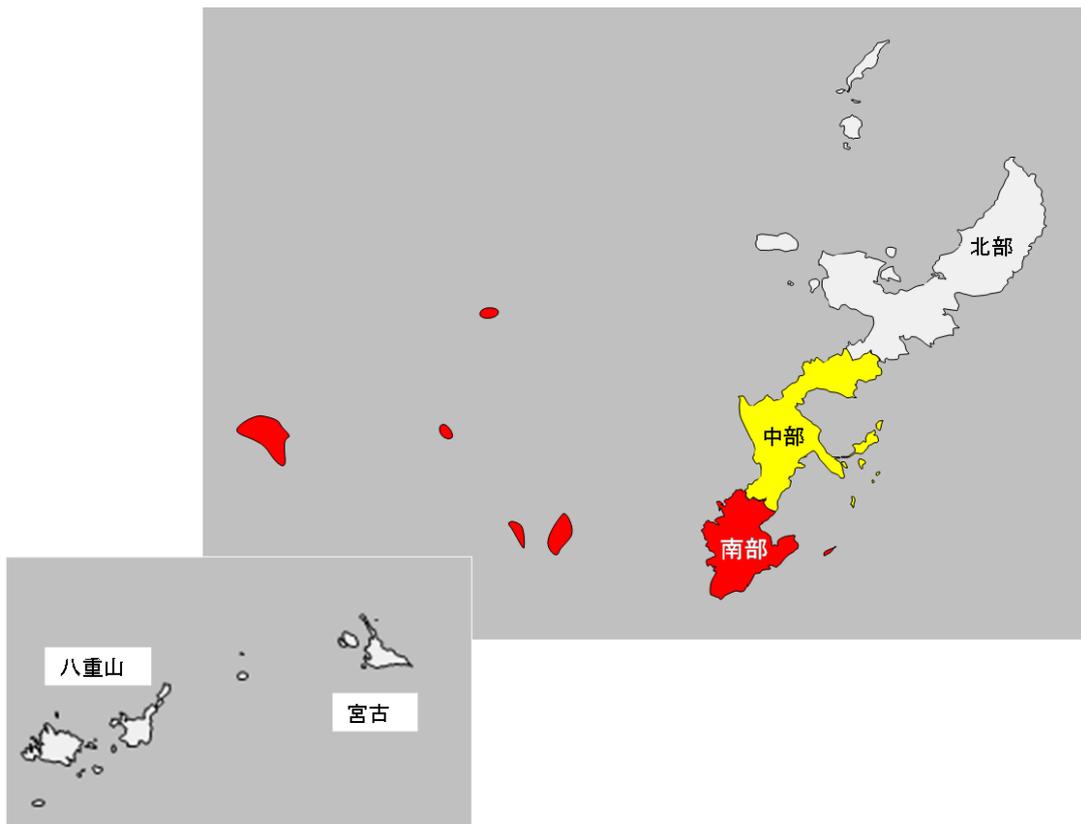


47. 沖縄県

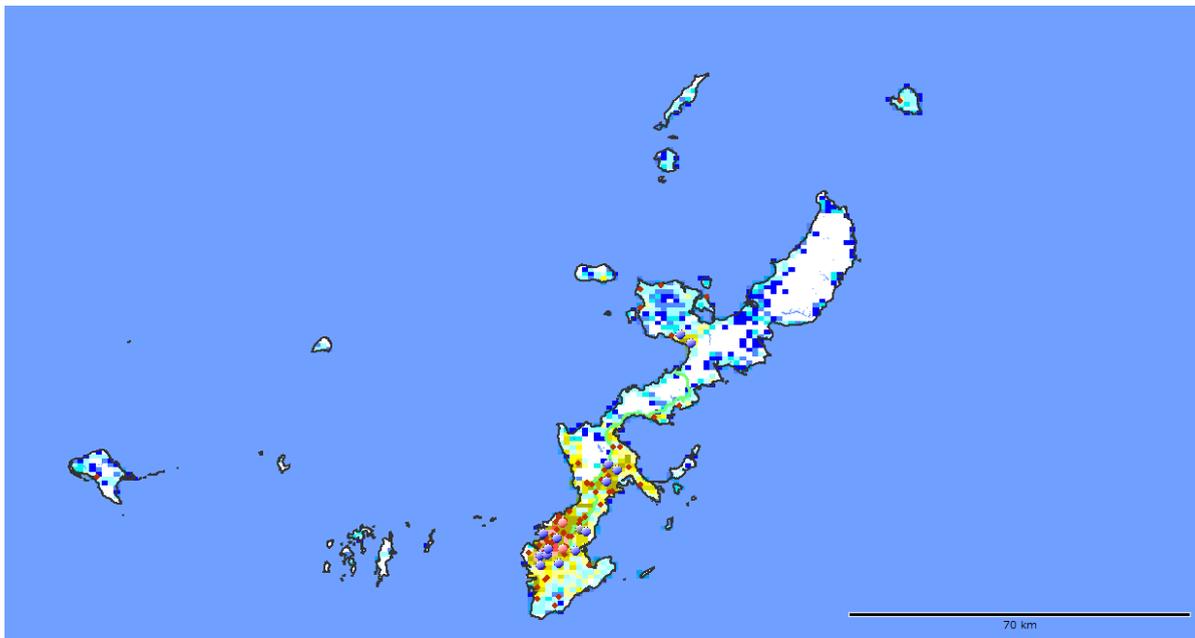


目次

沖縄県	47	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	47	-	8
1. 北部医療圏	47	-	20
2. 中部医療圏	47	-	25
3. 南部医療圏	47	-	30
4. 宮古医療圏	47	-	35
5. 八重山医療圏	47	-	40

47. 沖繩県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（沖縄県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 沖縄県は、総人口約1410千人（2015年推計）、面積2276km²、人口密度は620人/km²である。

***人口の将来予測：** 沖縄県の総人口は2025年に1414千人とほぼ変わらず（2015年比±0%）、2040年に1369千人へと減少する（2025年比-3%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の145千人が、2025年にかけて181千人へと増加し（2015年比+25%）、2040年には240千人へと増加する（2025年比+33%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 沖縄県の一人当たり医療費（国保）は274千円（偏差値39）、介護給付費は316千円（偏差値67）であり、医療費は低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 沖縄県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.14で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が49（病院医師数52、診療所医師数43）と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 沖縄県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、13765人（75歳以上1000人当たりの偏差値47）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9185床（偏差値53）、高齢者住宅等が4580床（偏差値45）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、13922人（75歳以上1000人当たりの偏差値67）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム43、軽費ホーム51、グループホーム40、サ高住56である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員（在宅）の合計は、1841人（75歳以上1000人当たりの偏差値48）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-71%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

沖縄県の総人口は、2005年1361594人が、2015年に1410269人と4%増加し、2025年の人口が1414154人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

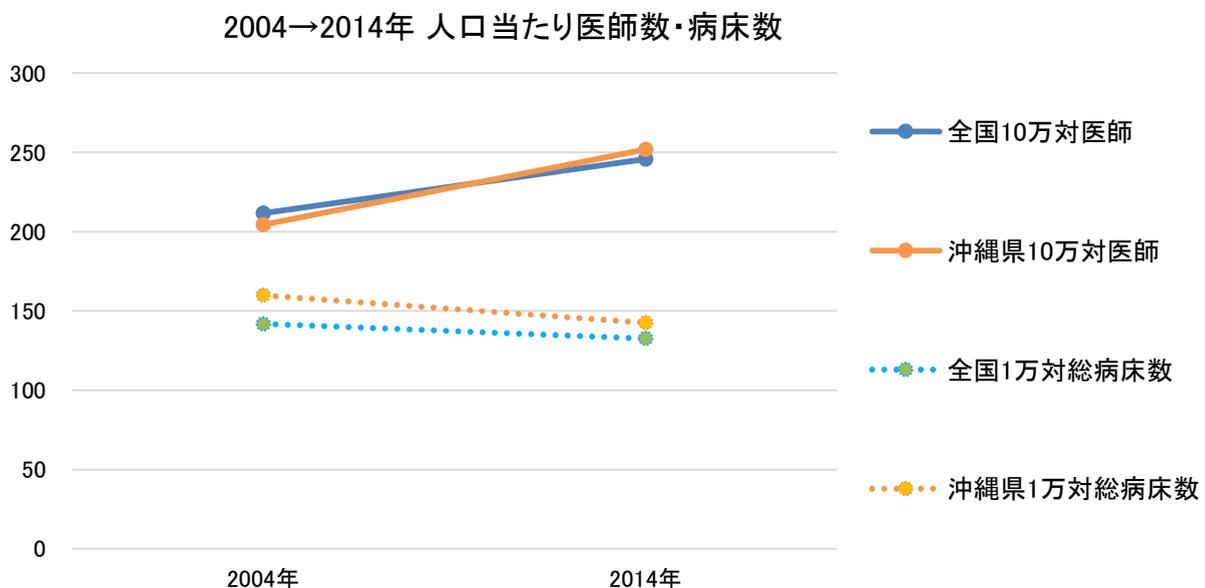
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が95(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に94(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が745(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に874(人口10万人当たり62診療所(全国平均79)偏差値41)と、129診療所が増加した。

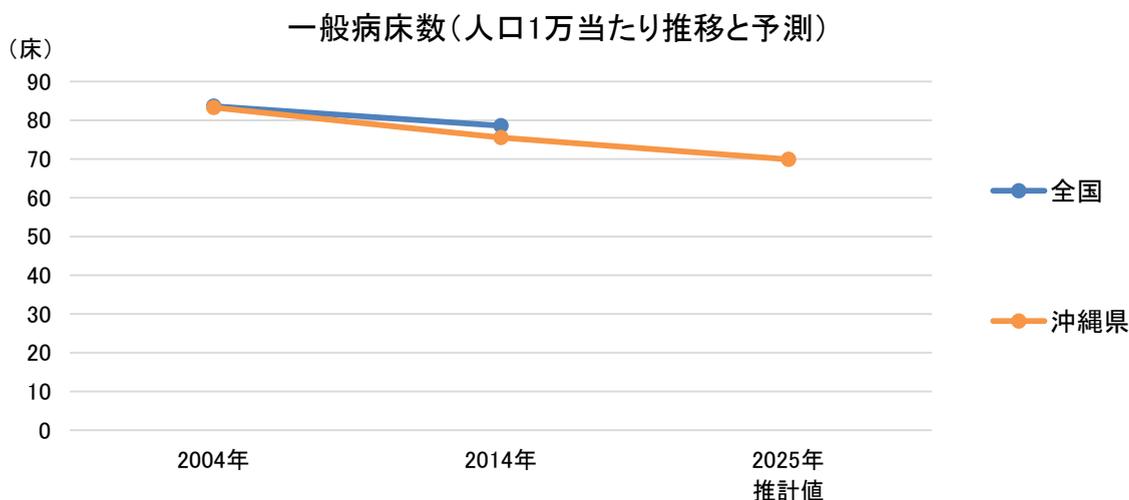
2004年の総病床数が21768床(人口1万人当たり160(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に20109床(人口1万人当たり143(全国平均133)偏差値52)と、1659床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が2784人(人口10万人当たり204人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に3552人(人口10万人当たり252人(全国平均246人)偏差値51)と、768人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



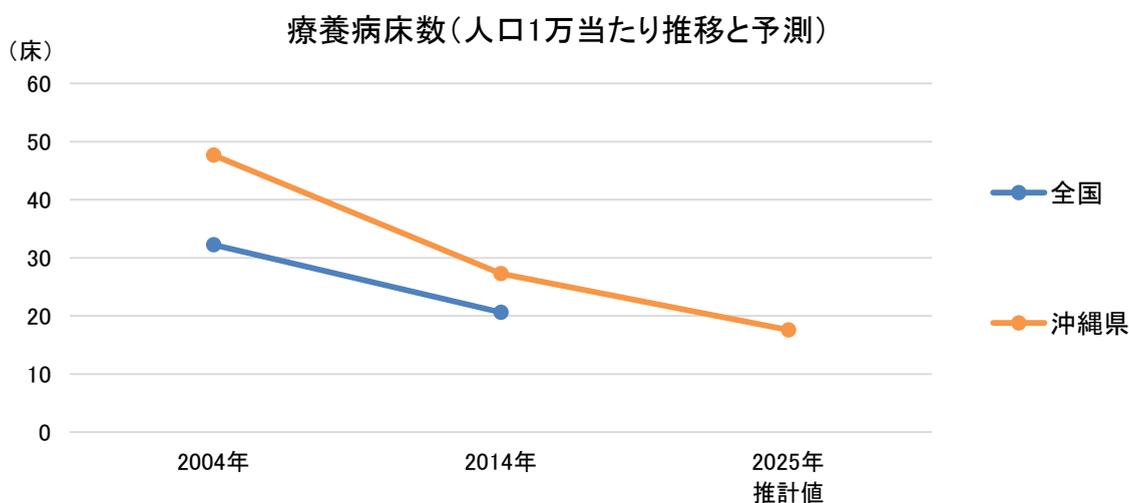
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11344床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に10653床(人口1万人当たり76(全国平均79)偏差値49)と、691床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9893床(2025年の推計人口1万人当たり70)になることが予想される。



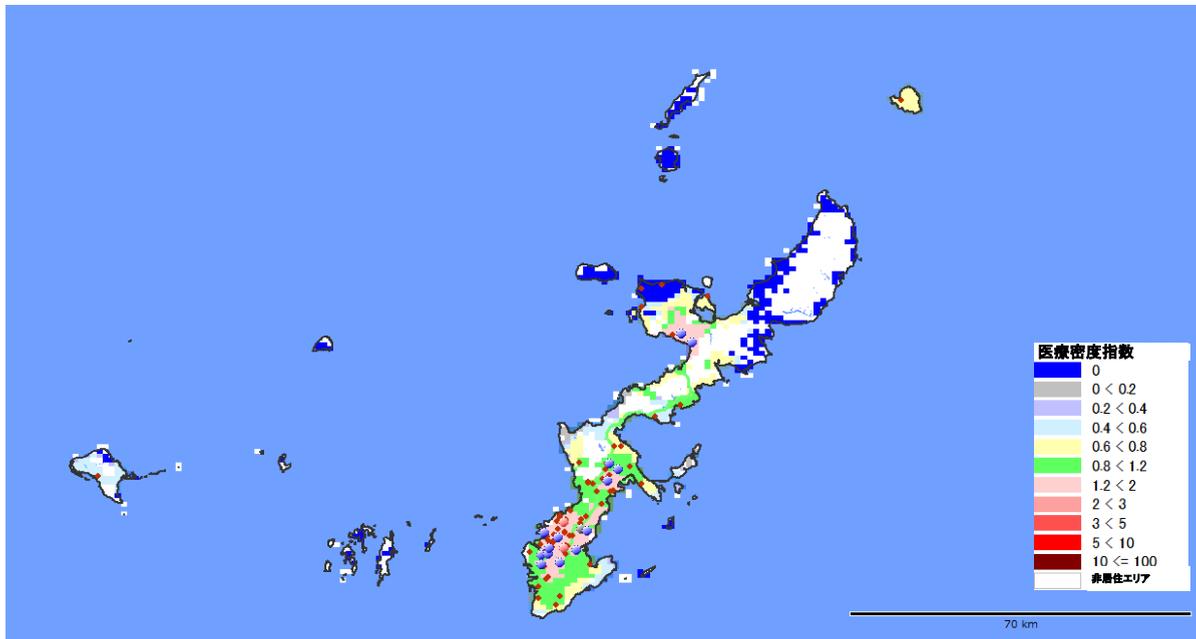
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4645床(75歳以上1000人当たり48(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に3953床(75歳以上1000人当たり27(全国平均21)偏差値56)と、692床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3193床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。

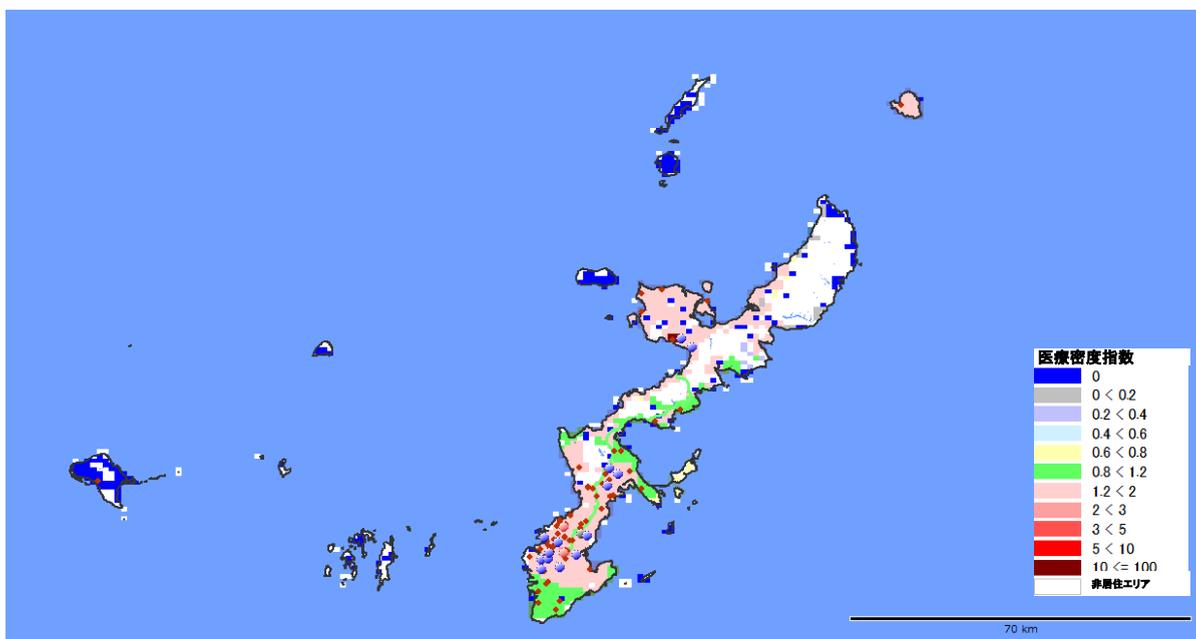


3. 医療密度⁵

図表47-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-2 慢性期医療密度指数マップ



47. 沖縄県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 47-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
沖縄県	1,410	26位	2,276	44位	619.6		20%	1,414	1,369	145	181	240	0%	-3%	25%	33%
北部	100	7%	705	31%	142.0	過疎地域型	24%	97	90	13	15	20	-3%	-7%	15%	33%
中部	487	35%	366	16%	1,330.4	地方都市型	19%	491	481	48	61	80	1%	-2%	27%	31%
南部	719	51%	387	17%	1,856.1	地方都市型	19%	724	704	71	91	121	1%	-3%	28%	33%
宮古	52	4%	226	10%	228.1	地方都市型	25%	48	43	7	7	10	-8%	-10%	0%	43%
八重山	53	4%	592	26%	90.0	過疎地域型	20%	54	52	6	7	9	2%	-4%	17%	29%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 47-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
沖縄県	1.07	1.14	-29.2%	-71.1%
北部	0.88	0.98	-18.0%	-52.6%
中部	0.97	1.81	-33.5%	-76.3%
南部	1.16	0.74	-42.6%	-89.1%
宮古	1.39	1.39	18.0%	-6.6%
八重山	0.67	0.67	-30.6%	-89.3%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 47-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
沖縄県	274	39	1.091	316	67
北部	297	45	1.066	324	69
中部	253	34	0.998	314	66
南部	294	44	1.100	304	64
宮古	246	32	0.885	422	95
八重山	222	27	0.871	343	74
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 47-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
沖縄県	94	1.1%	6.7	50	874	0.9%	62	41
北部	10	11%	10.0	58	62	7%	62	41
中部	29	31%	6.0	48	222	25%	46	33
南部	48	51%	6.7	50	517	59%	72	46
宮古	4	4%	7.7	53	37	4%	72	46
八重山	3	3%	5.6	47	36	4%	68	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 47-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
沖縄県	874	0.9%	62	41	769	0.8%	55	40	105	1.3%	7.4	51
北部	62	7%	62	41	55	7%	55	41	7	7%	7.0	51
中部	222	25%	46	33	197	26%	40	33	25	24%	5.1	48
南部	517	59%	72	46	460	60%	64	45	57	54%	7.9	52
宮古	37	4%	72	46	28	4%	54	40	9	9%	17.4	66
八重山	36	4%	68	44	29	4%	54	40	7	7%	13.1	60
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

47. 沖縄県（2016年版）

資_図表 47-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
沖縄県	18,893	1.2%	1,340	52	1,216	1.1%	86	50	20,109	1.2%	1,426	52
北部	1,921	10%	1,920	64	64	5%	64	48	1,985	10%	1,984	62
中部	5,927	31%	1,218	50	251	21%	52	46	6,178	31%	1,270	49
南部	9,787	52%	1,362	52	745	61%	104	51	10,532	52%	1,465	52
宮古	749	4%	1,450	54	124	10%	240	64	873	4%	1,690	56
八重山	509	3%	956	44	32	3%	60	47	541	3%	1,016	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 47-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
沖縄県	9,605	1.1%	681	49	3,785	1.2%	268	50	5,412	1.6%	384	55
北部	1,060	11%	1,059	65	496	13%	496	61	363	7%	363	54
中部	2,683	28%	551	43	1,331	35%	274	51	1,859	34%	382	55
南部	5,022	52%	699	50	1,654	44%	230	49	3,091	57%	430	57
宮古	478	5%	925	60	216	6%	418	58	49	1%	95	42
八重山	362	4%	680	49	88	2%	165	46	50	1%	94	42
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 47-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
沖縄県	1,305	1.9%	93	58	210	0.6%	15	46
北部	124	10%	124	65	0	0%	0	43
中部	584	45%	120	64	96	46%	20	47
南部	553	42%	77	55	107	51%	15	46
宮古	0	0%	0	38	7	3%	14	46
八重山	44	3%	83	56	0	0%	0	43
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局（関東信越厚生 局のみ7月公表分）。近畿厚生局は病床数 データがないため非掲載。			

資_図表 47-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
沖縄県	5,609	4,752	50	13,284	4,859	3,729	49.4%	49	1.3%	47
北部	1,062	1,060	0	859	0	496	100.0%	70	0.0%	46
中部	1,356	976	0	4,571	1,711	1,327	36.3%	43	0.0%	46
南部	2,398	2,037	50	7,389	2,987	1,602	40.5%	45	3.0%	47
宮古	443	388	0	306	90	216	81.2%	62	0.0%	46
八重山	350	291	0	159	71	88	80.4%	62	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 47-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
沖縄県	29,172	1.0%	2,069	49	15,324	1.5%	1,087	60
北部	1,032	4%	1,031	39	852	6%	851	52
中部	7,896	27%	1,623	44	4,104	27%	843	51
南部	19,020	65%	2,646	54	9,264	60%	1,289	67
宮古	756	3%	1,463	43	600	4%	1,161	62
八重山	468	2%	879	37	504	3%	946	55
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 47-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
沖縄県	3,686	1.1%	261	49	2,572	1.2%	182	52	1,114	0.9%	79	43
北部	209	6%	209	43	140	5%	140	46	69	6%	69	39
中部	1,042	28%	214	44	730	28%	150	48	311	28%	64	38
南部	2,233	61%	311	55	1,588	62%	221	58	645	58%	90	46
宮古	108	3%	209	43	59	2%	114	42	49	4%	95	47
八重山	95	3%	178	40	55	2%	103	41	40	4%	75	41
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

47. 沖縄県 (2016年版)

資_図表 47-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
沖縄県	149	1.0%	10.6	47	163	1.3%	11.6	54	145	1.4%	10.3	55
北部	4	3%	4.0	38	11	7%	11.0	52	4	3%	4.0	39
中部	46	31%	9.5	46	42	26%	8.6	47	40	28%	8.2	50
南部	91	61%	12.7	50	100	61%	13.9	59	92	63%	12.8	62
宮古	4	3%	7.7	43	6	4%	11.6	54	4	3%	7.7	49
八重山	4	3%	7.5	43	4	2%	7.5	45	5	3%	9.4	53
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
沖縄県	40	0.8%	2.8	44	87	0.9%	6.2	46	75	1.0%	5.3	48
北部	2	5%	2.0	40	4	5%	4.0	39	3	4%	3.0	39
中部	4	10%	0.8	34	25	29%	5.1	43	17	23%	3.5	41
南部	31	78%	4.3	51	54	62%	7.5	50	51	68%	7.1	55
宮古	3	8%	5.8	58	3	3%	5.8	45	2	3%	3.9	42
八重山	0	0%	0	30	1	1%	1.9	33	2	3%	3.8	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
沖縄県	146	1.8%	10.4	61	209	1.0%	14.8	48	164	1.1%	11.6	49
北部	7	5%	7.0	51	20	10%	20.0	55	7	4%	7.0	39
中部	63	43%	12.9	68	52	25%	10.7	42	41	25%	8.4	42
南部	70	48%	9.7	59	123	59%	17.1	51	105	64%	14.6	55
宮古	3	2%	5.8	48	9	4%	17.4	52	7	4%	13.5	53
八重山	3	2%	5.6	47	5	2%	9.4	41	4	2%	7.5	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
沖縄県	57	1.0%	4.0	48	63	1.0%	4.5	48	62	1.2%	4.4	51
北部	2	4%	2.0	38	4	6%	4.0	46	3	5%	3.0	46
中部	13	23%	2.7	41	13	21%	2.7	40	14	23%	2.9	46
南部	38	67%	5.3	54	41	65%	5.7	53	41	66%	5.7	55
宮古	3	5%	5.8	56	4	6%	7.7	61	2	3%	3.9	49
八重山	1	2%	1.9	37	1	2%	1.9	37	2	3%	3.8	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
沖縄県	77	1.2%	5.5	51	17	1.1%	1.2	50	63	1.9%	4.5	61
北部	4	5%	4.0	46	1	6%	1.0	48	5	8%	5.0	64
中部	17	22%	3.5	45	4	24%	0.8	46	21	33%	4.3	60
南部	53	69%	7.4	57	11	65%	1.5	53	35	56%	4.9	63
宮古	1	1%	1.9	39	0	0%	0	37	2	3%	3.9	57
八重山	2	3%	3.8	45	1	6%	1.9	57	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
沖縄県	22	1.1%	1.6	50	28	1.2%	2.0	51
北部	2	9%	2.0	54	0	0%	0	36
中部	10	45%	2.1	54	9	32%	1.8	50
南部	10	45%	1.4	49	16	57%	2.2	53
宮古	0	0%	0	37	2	7%	3.9	65
八重山	0	0%	0	37	1	4%	1.9	50
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

47. 沖縄県（2016年版）

資_図表 47-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
沖縄県	14,213	1.3%	1,008	55	11,996	1.3%	851	56	2,217	1.1%	157	50
北部	1,105	8%	1,104	58	944	8%	943	60	161	7%	161	51
中部	4,277	30%	879	50	3,597	30%	739	51	680	31%	140	48
南部	7,974	56%	1,109	58	6,793	57%	945	60	1,180	53%	164	51
宮古	468	3%	905	51	357	3%	690	49	111	5%	215	58
八重山	390	3%	733	45	305	3%	573	44	85	4%	160	51
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 47-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
沖縄県	2,040	1.7%	145	60	2,109	0.7%	150	42
北部	160	8%	160	63	108	5%	108	38
中部	711	35%	146	60	533	25%	110	38
南部	1,098	54%	153	61	1,356	64%	189	46
宮古	29	1%	56	43	53	3%	103	37
八重山	42	2%	78	47	59	3%	111	38
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 47-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
沖縄県	103	0.7%	0.7	46	12	1.1%	0.1	52	101	1.1%	0.7	56
北部	7	7%	0.5	42	1	8%	0.1	51	9	9%	0.7	55
中部	26	25%	0.5	42	4	33%	0.1	52	39	39%	0.8	63
南部	57	55%	0.8	48	7	58%	0.1	55	40	40%	0.6	49
宮古	8	8%	1.1	54	0	0%	0	39	7	7%	0.9	70
八重山	5	5%	0.9	50	0	0%	0	39	6	6%	1.1	77
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 47-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
沖縄県	13,765	0.8%	95	47	9,185	0.9%	63	53	4,580	0.7%	32	45
北部	1,204	9%	91	45	997	11%	75	62	207	5%	16	34
中部	4,726	34%	99	50	3,202	35%	67	56	1,524	33%	32	45
南部	6,534	47%	92	46	4,134	45%	58	49	2,400	52%	34	46
宮古	793	6%	107	55	516	6%	70	58	277	6%	37	49
八重山	508	4%	92	46	336	4%	61	51	172	4%	31	44
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 47-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
沖縄県	3,941	1.1%	27	59	4,689	0.8%	32	49	555	0.8%	3.8	49
北部	350	9%	26	58	559	12%	42	58	88	16%	6.6	56
中部	1,100	28%	23	52	1,821	39%	38	54	281	51%	5.9	54
南部	2,155	55%	30	65	1,889	40%	27	43	90	16%	1.3	43
宮古	180	5%	24	54	240	5%	32	49	96	17%	13.0	71
八重山	156	4%	28	61	180	4%	33	49	0	0%	0	40
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
沖縄県	969	0.4%	6.7	43	225	1.0%	1.6	51	888	0.5%	6.1	40
北部	0	0%	0	37	0	0%	0	43	72	8%	5.4	39
中部	223	23%	4.6	41	80	36%	1.7	51	285	32%	5.9	40
南部	682	70%	9.6	46	100	44%	1.4	50	441	50%	6.2	40
宮古	64	7%	8.6	45	0	0%	0	43	63	7%	8.5	44
八重山	0	0%	0	37	45	20%	8.2	83	27	3%	4.9	38
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

47. 沖縄県 (2016年版)

資_図表 47-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
沖縄県	2,498	1.2%	17.2	56	160	1.2%	1.1	52	2,338	1.2%	16.1	56
北部	135	5%	10.1	46	0	0%	0	45	135	6%	10.1	47
中部	936	37%	19.5	60	60	38%	1.3	53	876	37%	18.3	60
南部	1,177	47%	16.7	56	0	0%	0	45	1,177	50%	16.7	57
宮古	150	6%	20.3	61	100	63%	13.5	130	50	2%	6.8	41
八重山	100	4%	18.1	58	0	0%	0	45	100	4%	18.1	60
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 47-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
沖縄県	1,494	0.9%	10.3	52	1,096	0.9%	7.6	52	398	0.9%	2.7	52
北部	129	9%	9.7	50	99	9%	7.4	51	30	8%	2.3	47
中部	533	36%	11.1	56	383	35%	8.0	54	150	38%	3.1	57
南部	663	44%	9.4	48	487	44%	6.9	49	175	44%	2.5	49
宮古	116	8%	15.7	75	92	8%	12.4	74	25	6%	3.3	59
八重山	53	4%	9.6	49	35	3%	6.3	46	18	5%	3.3	59
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
沖縄県	15,763	1.1%	109	65	13,922	1.1%	96	67	1,841	0.8%	12.7	48
北部	1,422	9%	107	64	1,191	9%	90	61	231	13%	17.3	57
中部	5,321	34%	111	67	4,765	34%	99	70	556	30%	11.6	46
南部	7,393	47%	105	62	6,726	48%	95	66	667	36%	9.4	42
宮古	1,053	7%	142	92	744	5%	100	71	309	17%	41.8	101
八重山	575	4%	104	61	495	4%	90	62	79	4%	14.4	51
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
沖縄県	6,619	0.6%	46	44	1,660	0.4%	11	37	9,351	0.6%	65	42
北部	387	6%	29	38	200	12%	15	41	1,041	11%	78	46
中部	1,536	23%	32	39	531	32%	11	37	2,839	30%	59	40
南部	3,728	56%	53	46	720	43%	10	36	3,883	42%	55	39
宮古	833	13%	112	66	119	7%	16	42	1,198	13%	162	73
八重山	135	2%	24	37	90	5%	16	42	390	4%	71	44
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
沖縄県		1,361,594	1,410,269	4%	1,414,154	4%	13%	10%	25%
北部	過疎地域型	102,483	100,065	-2%	96,913	-5%	6%	7%	13%
中部	地方都市型	464,371	486,588	5%	491,221	6%	16%	10%	27%
南部	地方都市型	688,706	718,690	4%	723,891	5%	15%	11%	27%
宮古	地方都市型	54,863	51,662	-6%	48,460	-12%	-1%	2%	1%
八重山	過疎地域型	51,171	53,264	4%	53,669	5%	10%	11%	22%
出典	<人口(2005年)> 平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など) <人口(2015年、2025年)> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 47-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
沖縄県	95	7.0	50	94	6.7	50	-1	-1%	93
北部	9	8.8	54	10	10.0	58	1	11%	11
中部	29	6.2	48	29	6.0	48	0	0%	29
南部	50	7.3	50	48	6.7	50	-2	-4%	46
宮古	4	7.3	50	4	7.7	53	0	0%	4
八重山	3	5.9	47	3	5.6	47	0	0%	3
出典	<病院数2004年> 平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年> 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

47. 沖縄県（2016年版）

資_図表 47-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
沖縄県	745	55	39	874	62	41	129	17%	1,015
北部	60	59	41	62	62	41	2	3%	64
中部	194	42	33	222	46	33	28	14%	253
南部	423	61	43	517	72	46	94	22%	620
宮古	35	64	44	37	72	46	2	6%	39
八重山	33	64	44	36	68	44	3	9%	39
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 47-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
沖縄県	2,784	204	49	3,552	252	51	768	28%	4,396
北部	172	168	45	194	194	45	22	13%	218
中部	742	160	44	954	196	45	212	29%	1,187
南部	1,695	246	54	2,209	307	56	514	30%	2,774
宮古	91	166	45	101	196	45	10	11%	112
八重山	84	164	44	94	176	43	10	12%	105
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 47-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
沖縄県	21,768	160	53	20,109	143	52	-1,659	-8%	18,285
北部	2,338	228	65	1,985	198	62	-353	-15%	1,597
中部	6,393	138	49	6,178	127	49	-215	-3%	5,942
南部	11,360	165	54	10,532	147	52	-828	-7%	9,621
宮古	1,116	203	61	873	169	56	-243	-22%	606
八重山	561	110	44	541	102	44	-20	-4%	519
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 47-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
沖縄県	11,344	83	50	10,653	76	49	-691	-6%	9,893	70
北部	1,407	137	69	1,124	112	62	-283	-20%	813	84
中部	2,938	63	43	2,889	59	43	-49	-2%	2,835	58
南部	5,820	85	50	5,654	79	50	-166	-3%	5,471	76
宮古	765	139	70	592	115	63	-173	-23%	402	83
八重山	414	81	49	394	74	48	-20	-5%	372	69
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 47-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
沖縄県	4,645	48	59	3,953	27	56	-692	-15%	3,193	18
北部	496	45	57	496	37	64	0	0%	496	32
中部	1,468	49	60	1,376	29	57	-92	-6%	1,275	21
南部	2,352	52	61	1,767	25	54	-585	-25%	1,124	12
宮古	241	37	53	226	31	59	-15	-6%	210	28
八重山	88	20	43	88	16	46	0	0%	88	13
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

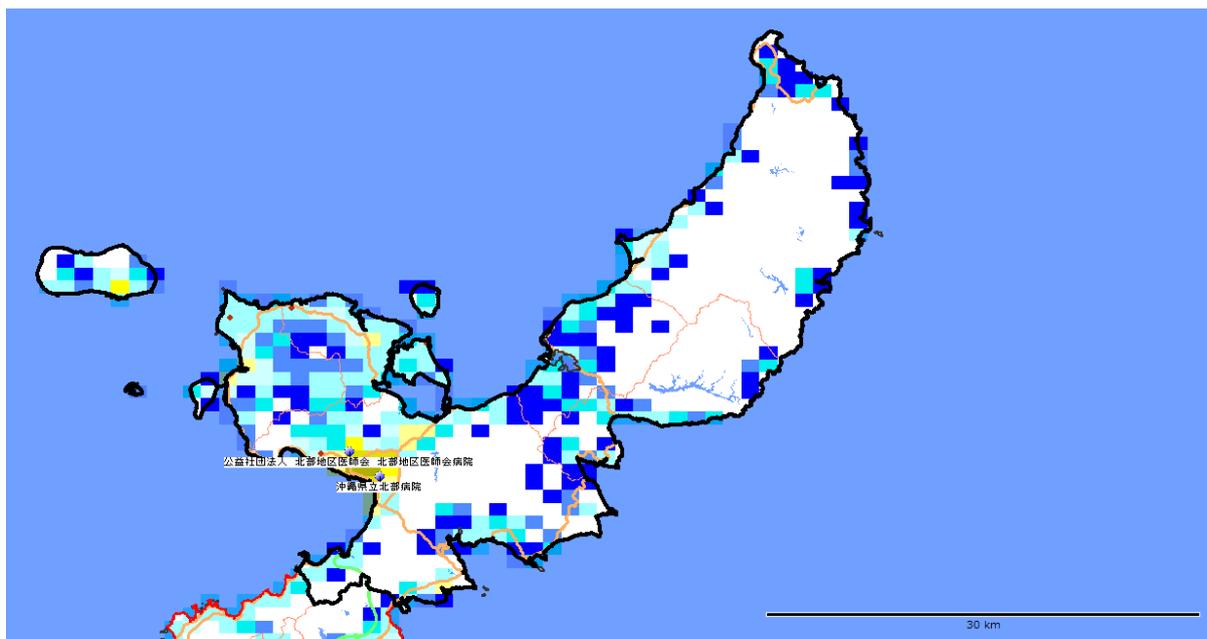
資_図表 47-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数		
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
沖縄県	284	40	1.078	131	52	1.290	136	26	0.964
北部	313	46	1.087	153	59	1.373	143	30	0.927
中部	263	35	1.012	120	48	1.201	127	21	0.910
南部	303	44	1.102	140	55	1.329	144	31	0.975
宮古	255	33	0.891	112	45	1.013	125	20	0.815
八重山	236	28	0.898	100	41	0.989	122	18	0.862
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

47-1. ほくぶ 北部医療圏

構成市区町村¹⁰ [名護市](#) [国頭村](#) [大宜味村](#) [東村](#)
 [今帰仁村](#) [本部町](#) [伊江村](#) [伊平屋村](#)
 [伊是名村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(名護市)は、総人口約100千人(2015年推計)、面積705km²、人口密度は142人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に97千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に90千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて15千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には20千人へと増加する(2025年比+33%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は297千円(偏差値45)、介護給付費は324千円(偏差値69)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.88、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.98で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数46、診療所医師数39)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の沖縄県立北部病院(Ⅲ群)、北部地区医師会病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値65と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1204人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が997床(偏差値62)、高齢者住宅等が207床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1191人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設56、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム39、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、231人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-53%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年102483人が、2015年に100065人と2%減少し、2025年の人口が96913人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

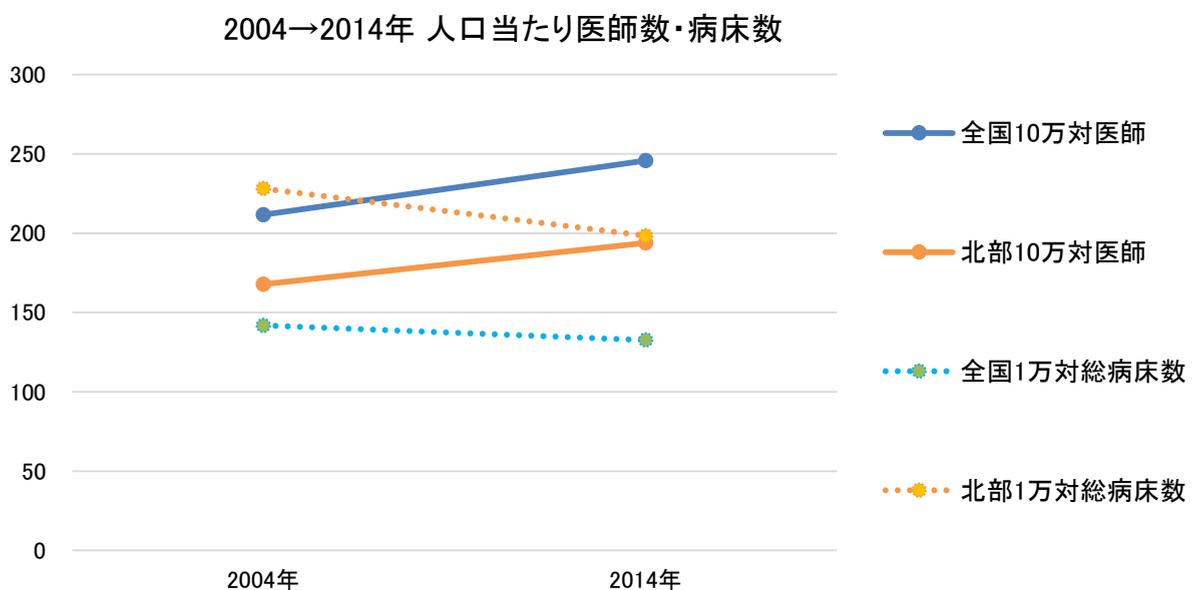
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に10(人口10万人当たり10病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が60(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に62(人口10万人当たり62診療所(全国平均79)偏差値41)と、2診療所が増加した。

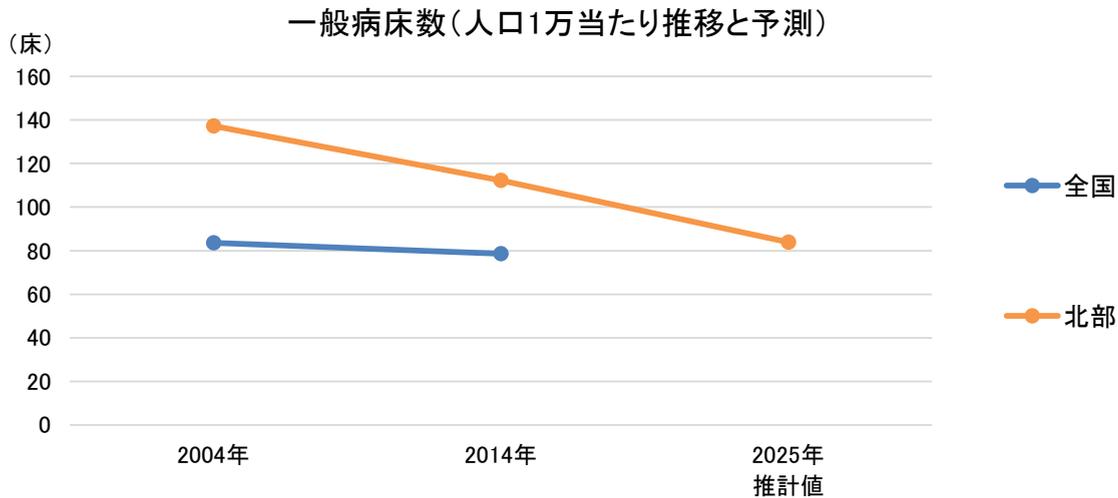
2004年の総病床数が2338床(人口1万人当たり228(全国平均142)偏差値65)であったが、2014年に1985床(人口1万人当たり198(全国平均133)偏差値62)と、353床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が172人(人口10万人当たり168人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に194人(人口10万人当たり194人(全国平均246人)偏差値45)と、22人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



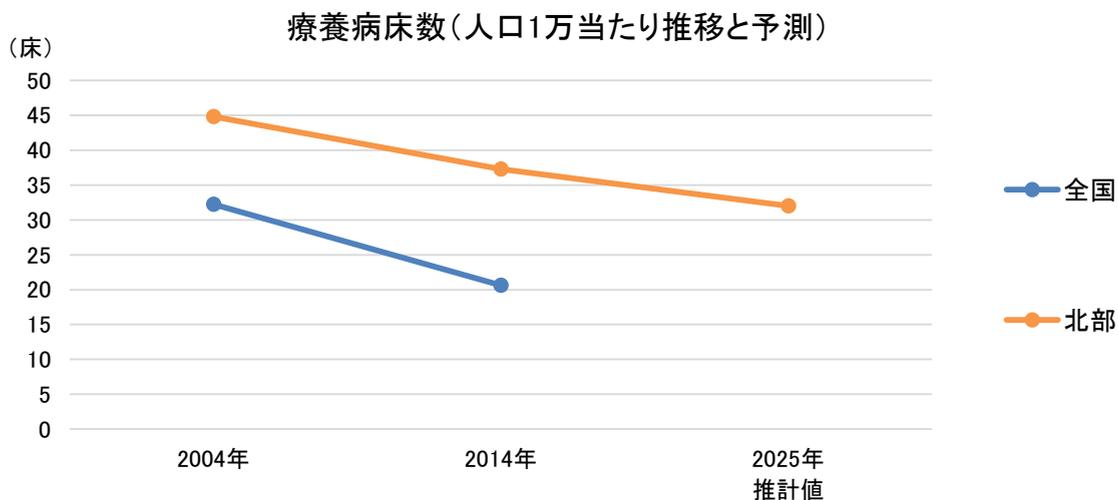
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1407床(人口1万人当たり137(全国平均84)偏差値69)であったが、2014年に1124床(人口1万人当たり112(全国平均79)偏差値62)と、283床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には813床(2025年の推計人口1万人当たり84)になることが予想される。



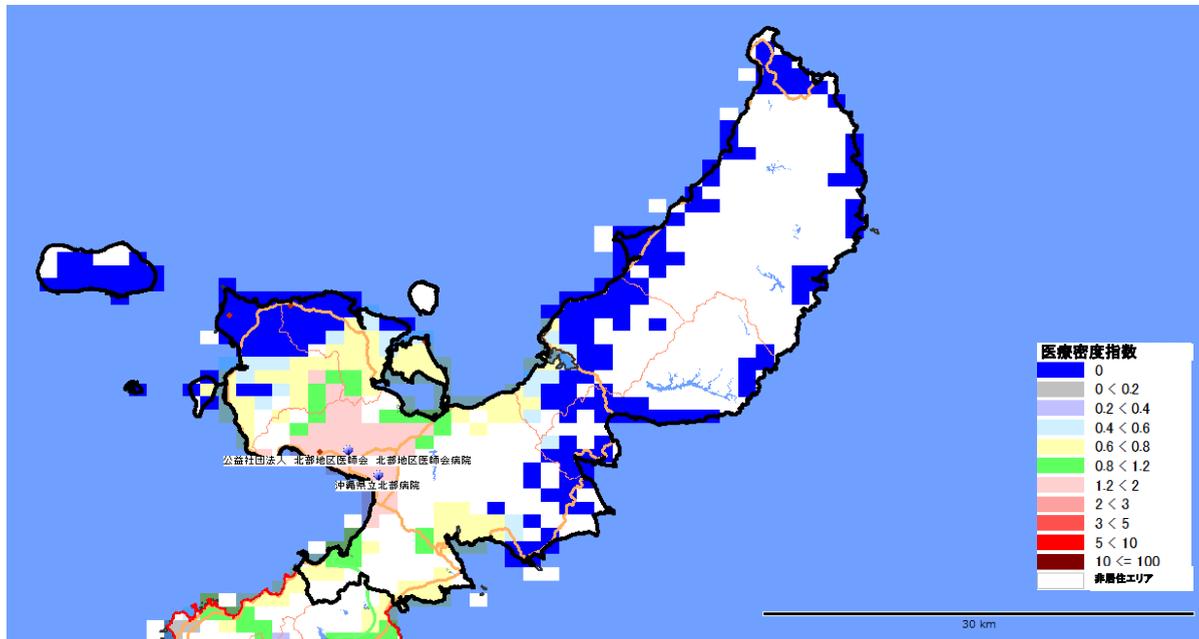
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が496床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に496床(75歳以上1000人当たり37(全国平均21)偏差値64)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には496床(2025年の推計75歳以上1000人当たり32)になることが予想される。

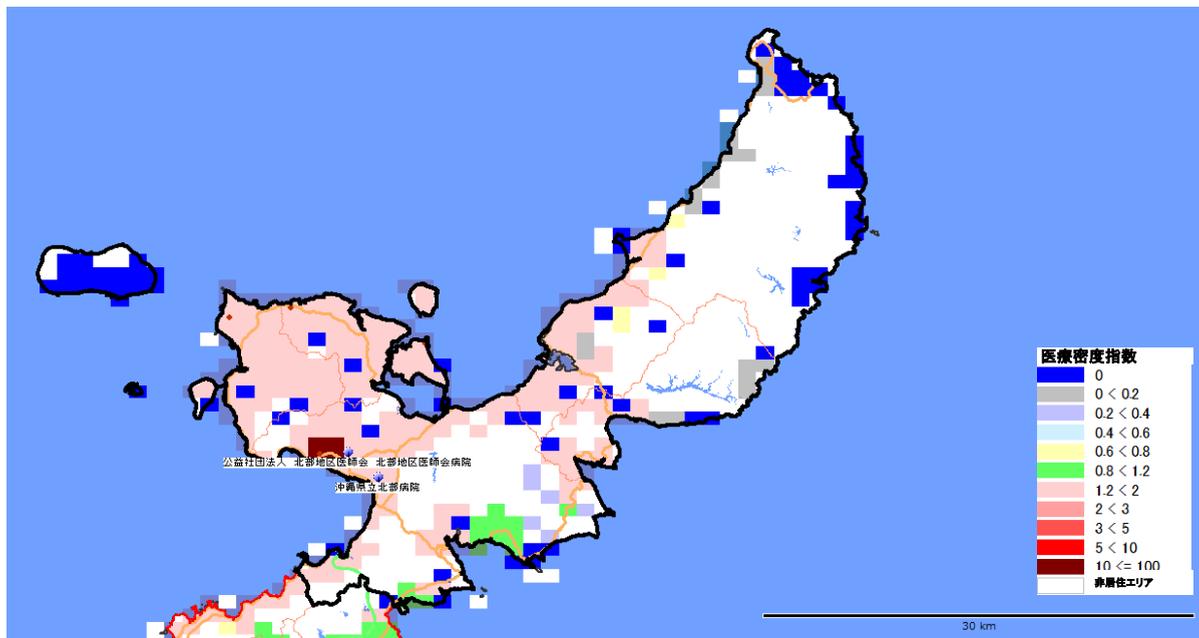


3. 医療密度⁵

図表47-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-1-2 慢性期医療密度指数マップ

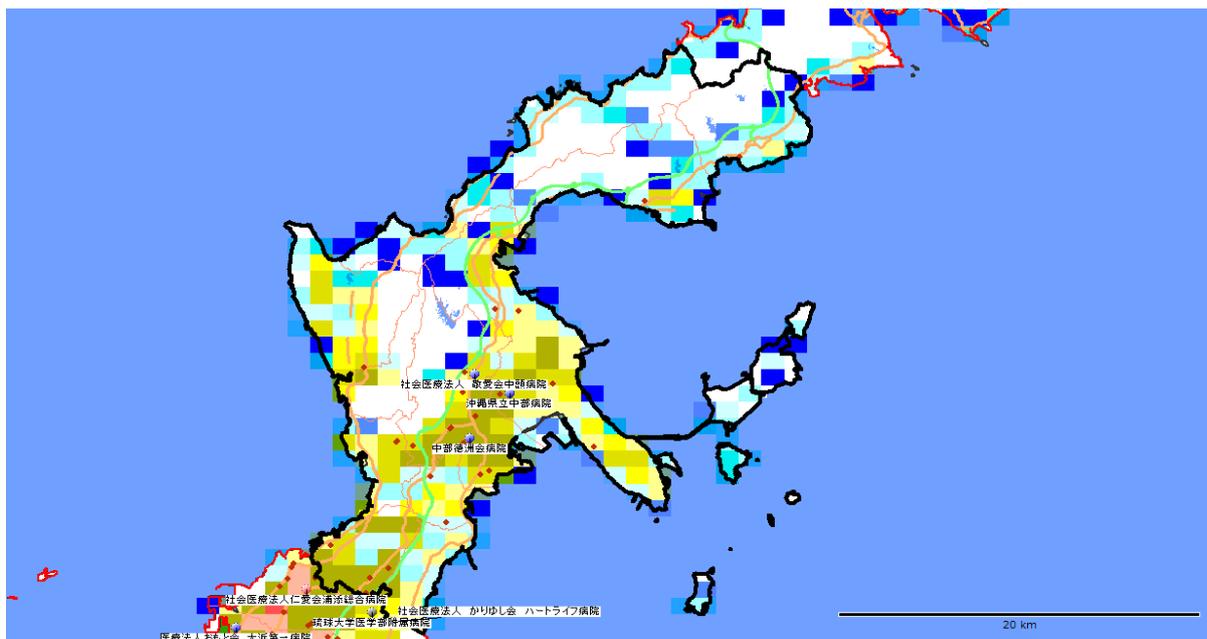


47-2. ちゅうぶ 中部医療圏

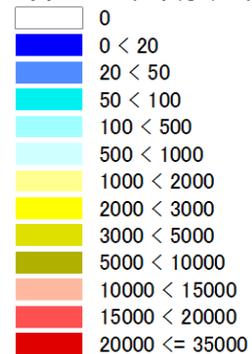
構成市区町村¹⁰

宜野湾市	沖縄市	うるま市	恩納村
宜野座村	金武町	読谷村	嘉手納町
北谷町	北中城村	中城村	

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（中部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 中部(宜野湾市)は、総人口約487千人(2015年推計)、面積366km²、人口密度は1330人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 中部の総人口は2025年に491千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に481千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて61千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には80千人へと増加する(2025年比+31%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 中部の一人当たり医療費(国保)は253千円(偏差値34)、介護給付費は314千円(偏差値66)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 中部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.97、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.81で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が44(病院医師数48、診療所医師数38)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。中部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の沖縄県立中部病院(Ⅲ群・救命)、ハートライフ病院(Ⅲ群)、中部徳洲会病院(Ⅲ群)、中頭病院(Ⅱ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は33で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4726人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3202床(偏差値56)、高齢者住宅等が1524床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4765人(75歳以上1000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム41、軽費ホーム51、グループホーム40、サ高住60である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、556人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-76%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年464371人が、2015年に486588人と5%増加し、2025年の人口が491221人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

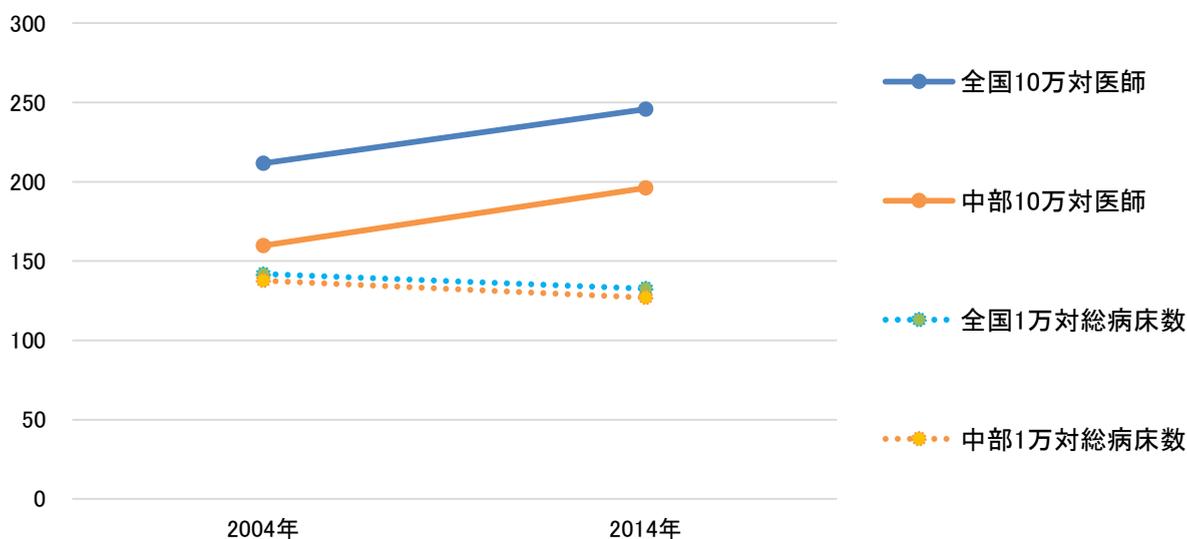
2004年の病院数が29(人口10万人当たり6.2病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に29(人口10万人当たり6病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が194(人口10万人当たり42診療所(全国平均76)偏差値33)であったが、2014年に222(人口10万人当たり46診療所(全国平均79)偏差値33)と、28診療所が増加した。

2004年の総病床数が6393床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に6178床(人口1万人当たり127(全国平均133)偏差値49)と、215床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

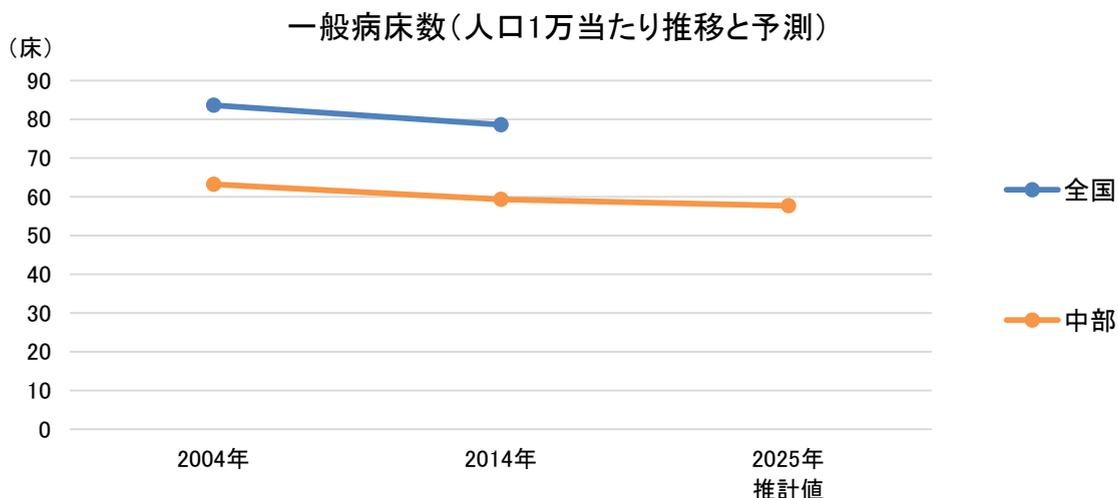
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が742人(人口10万人当たり160人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に954人(人口10万人当たり196人(全国平均246人)偏差値45)と、212人の増加、率にして29%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



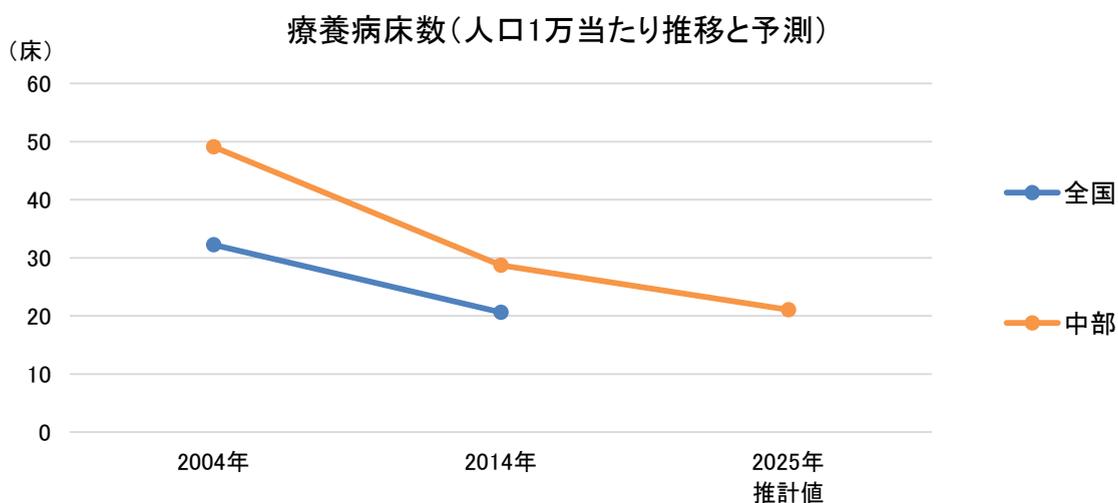
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2938床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に2889床(人口1万人当たり59(全国平均79)偏差値43)と、49床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2835床(2025年の推計人口1万人当たり58)になることが予想される。



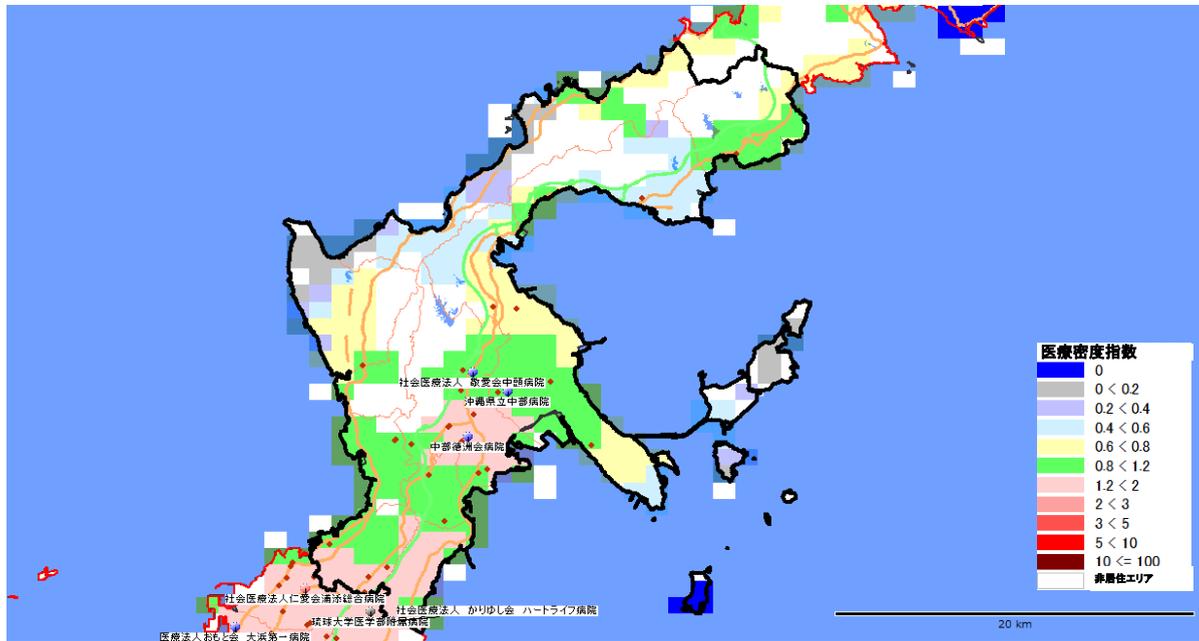
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1468床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1376床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値57)と、92床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1275床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。

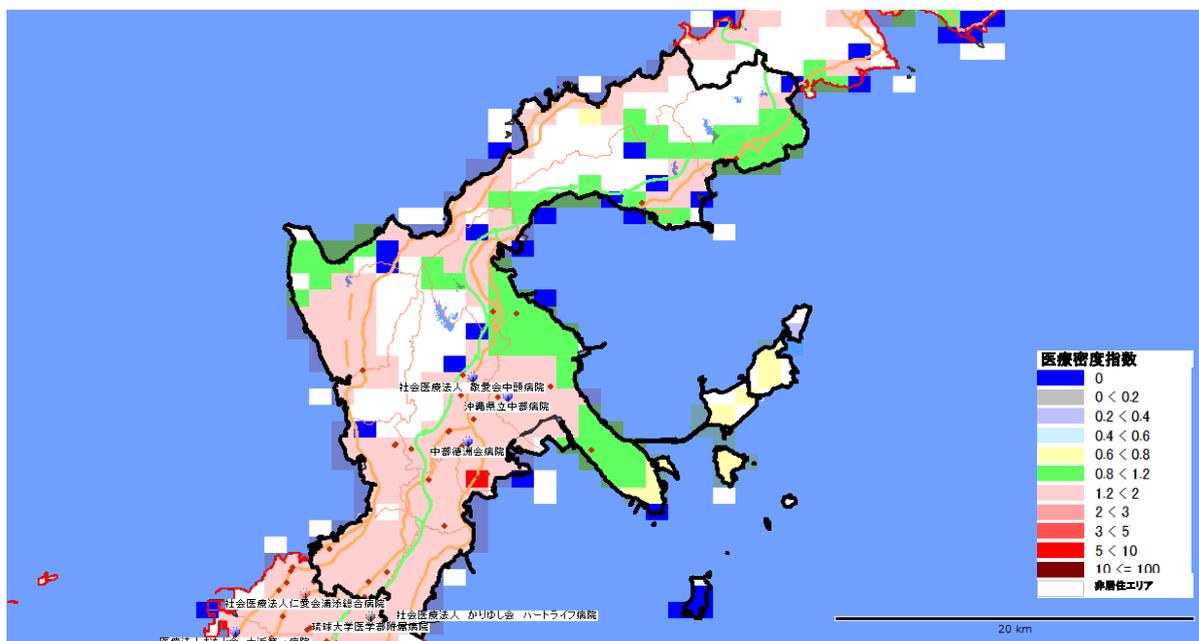


3. 医療密度⁵

図表47-2-1 急性期医療密度指数マップ



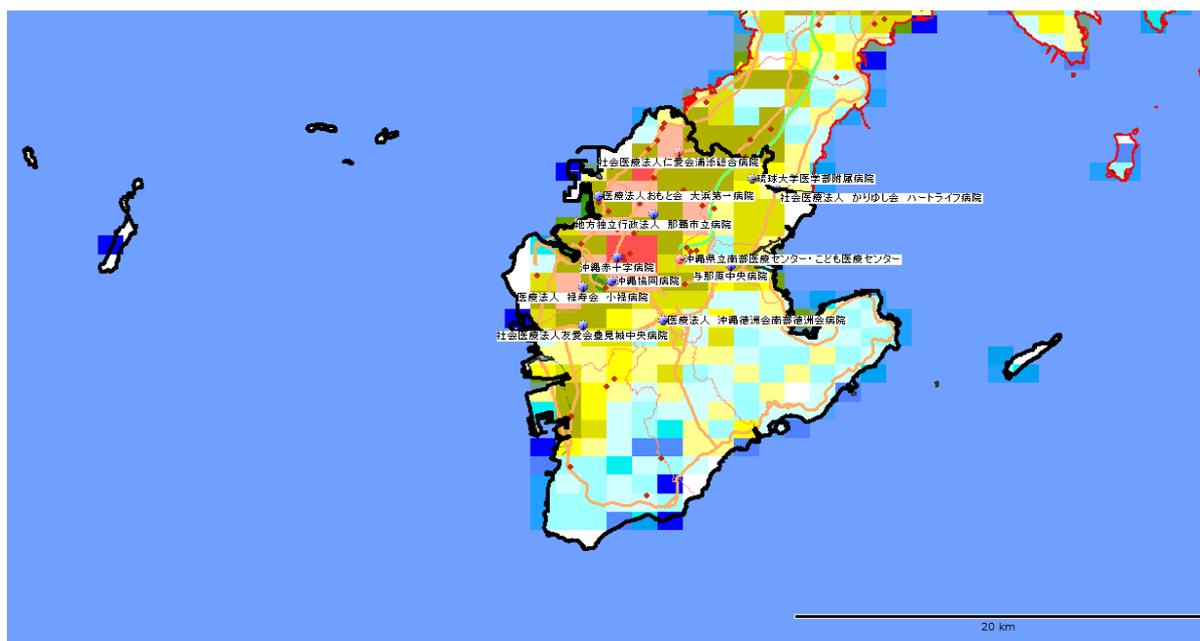
図表47-2-2 慢性期医療密度指数マップ



47-3. なんぶ 南部医療圏

構成市区町村 ¹⁰	那覇市	浦添市	糸満市	豊見城市
	南城市	西原町	与那原町	南風原町
	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村
	南大東村	北大東村	久米島町	八重瀬町

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(那覇市)は、総人口約719千人(2015年推計)、面積387km²、人口密度は1856人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に724千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に704千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の71千人が、2025年にかけて91千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には121千人へと増加する(2025年比+33%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は294千円(偏差値44)、介護給付費は304千円(偏差値64)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.74で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が55(病院医師数58、診療所医師数46)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の豊見城中央病院(Ⅲ群)、浦添総合病院(Ⅱ群・救命)、琉球大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の沖縄協同病院(Ⅲ群)、那覇市立病院(Ⅲ群)、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター(Ⅲ群・救命)、500例以上の沖縄赤十字病院(Ⅲ群)、南部徳洲会病院(Ⅲ群)、大浜第一病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6534人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4134床(偏差値49)、高齢者住宅等が2400床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6726人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム46、軽費ホーム50、グループホーム40、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、667人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-89%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年688706人が、2015年に718690人と4%増加し、2025年の人口が723891人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

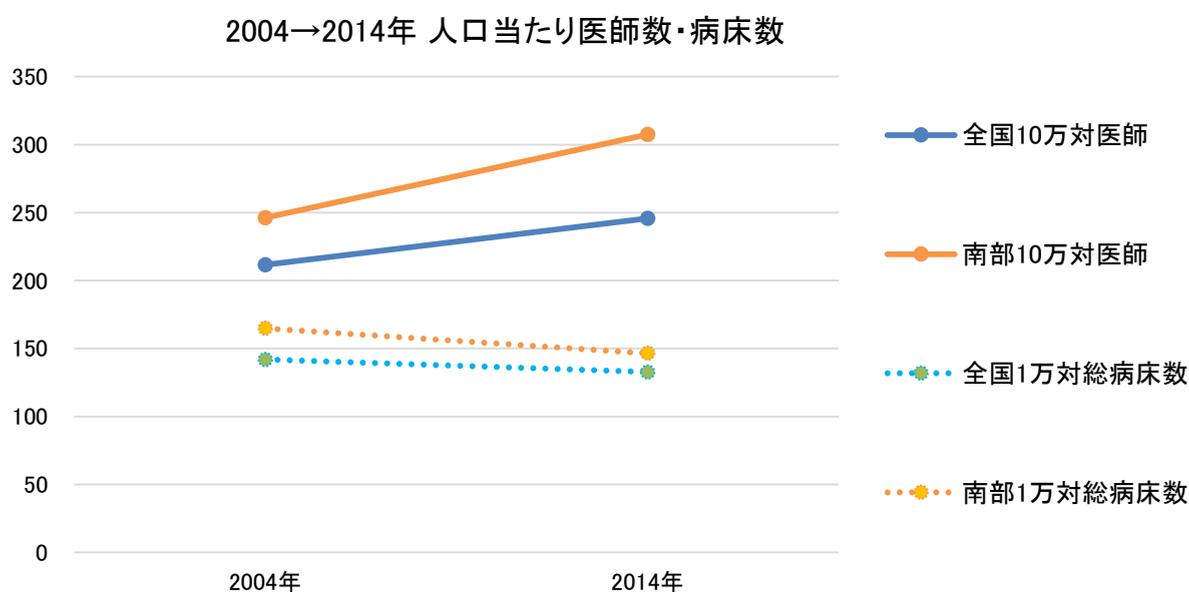
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が50(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に48(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が423(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に517(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、94診療所が増加した。

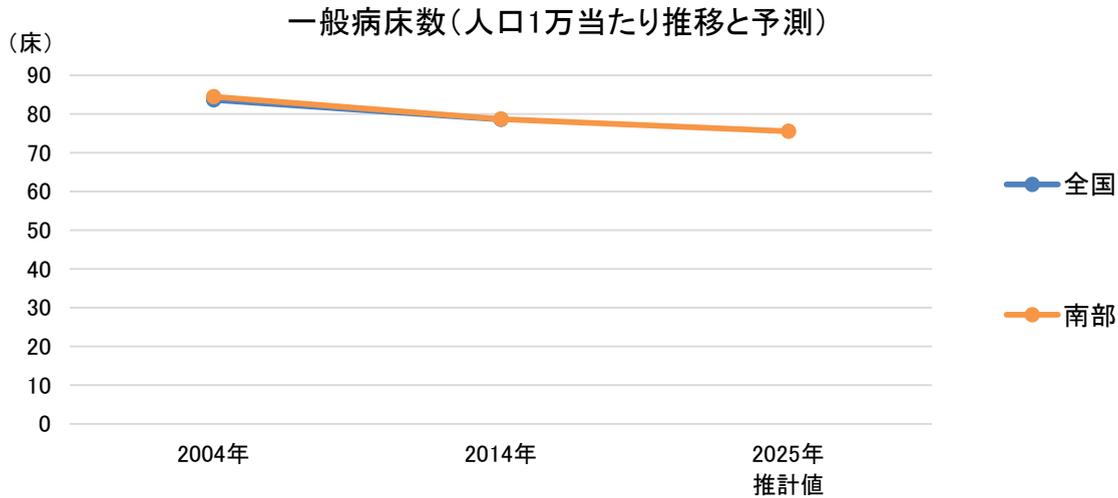
2004年の総病床数が11360床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に10532床(人口1万人当たり147(全国平均133)偏差値52)と、828床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1695人(人口10万人当たり246人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に2209人(人口10万人当たり307人(全国平均246人)偏差値56)と、514人の増加、率にして30%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



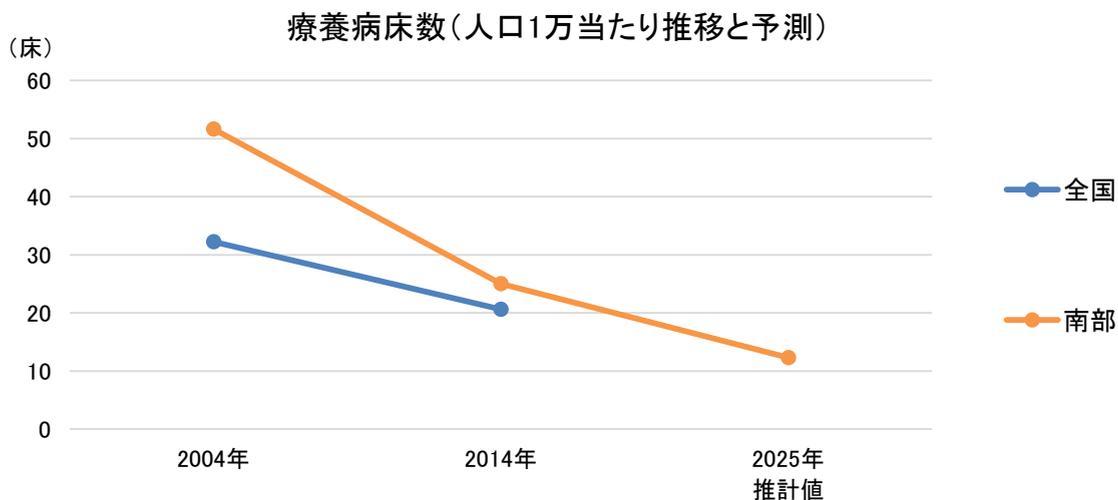
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5820床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に5654床(人口1万人当たり79(全国平均79)偏差値50)と、166床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5471床(2025年の推計人口1万人当たり76)になることが予想される。



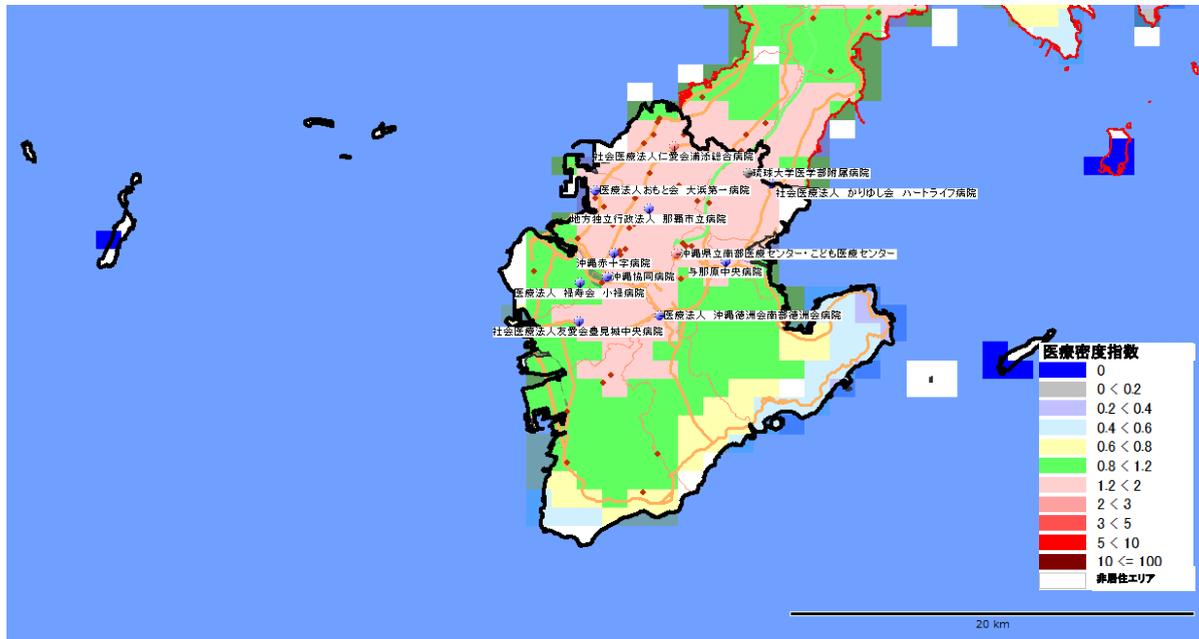
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2352床(75歳以上1000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に1767床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、585床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1124床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

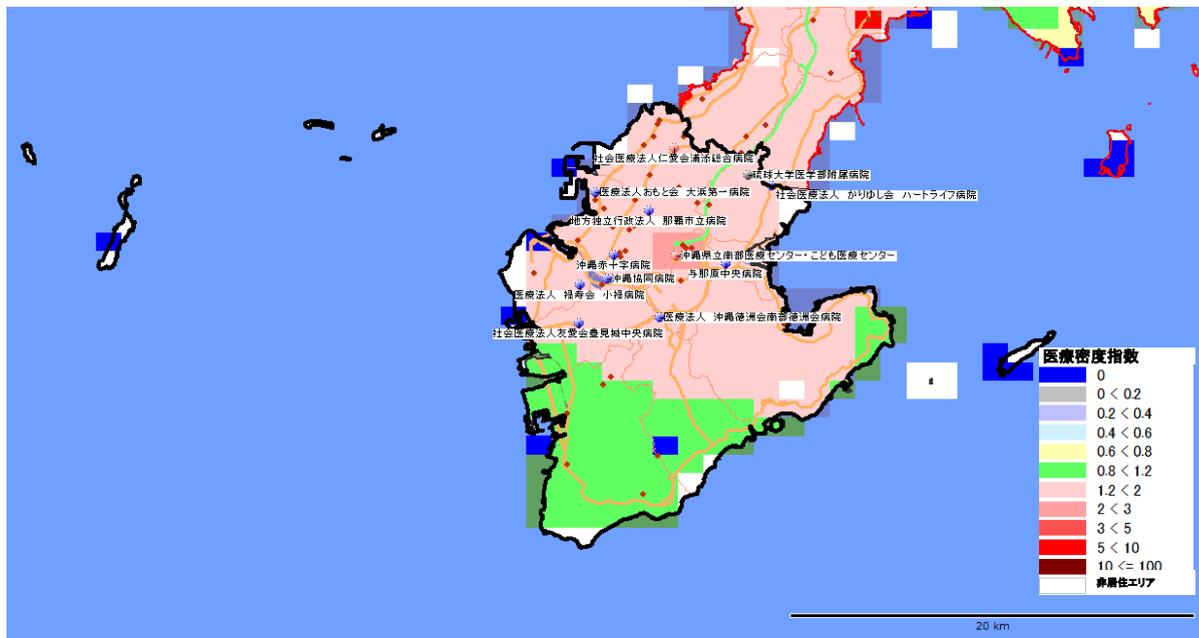


3. 医療密度⁵

図表47-3-1 急性期医療密度指数マップ



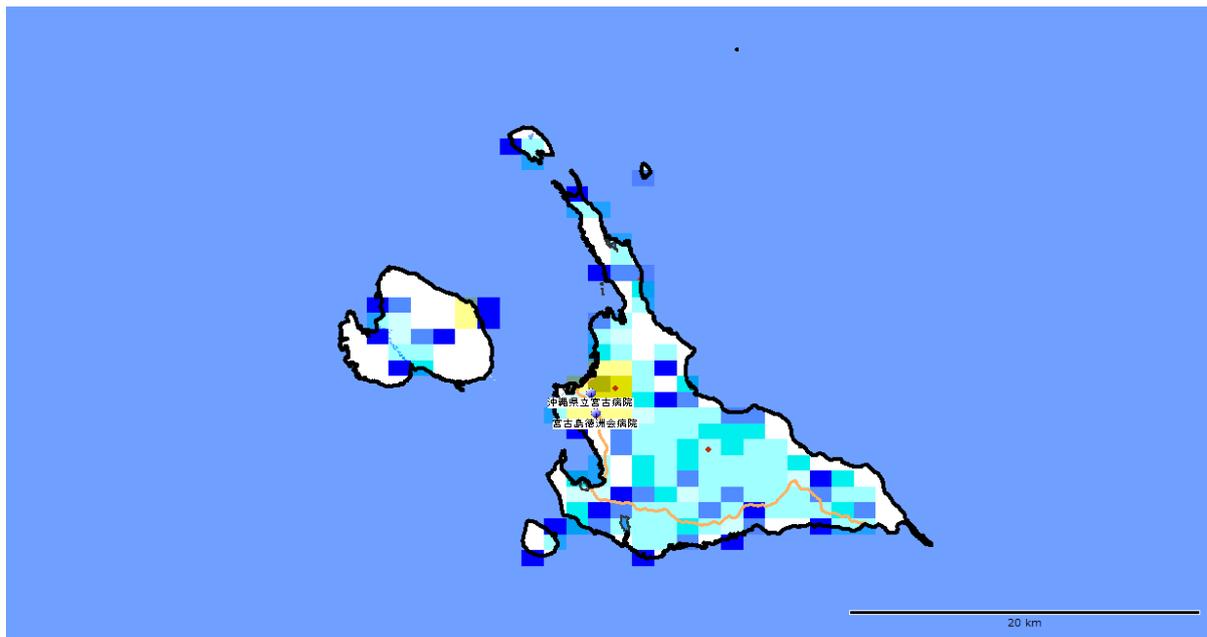
図表47-3-2 慢性期医療密度指数マップ



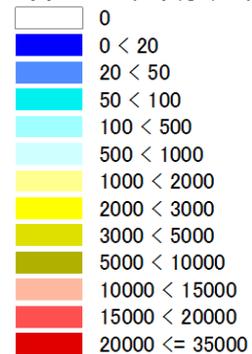
47-4. みやこ 宮古医療圏

構成市区町村¹⁰ [宮古島市](#) [多良間村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（宮古医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 宮古(宮古島市)は、総人口約52千人(2015年推計)、面積226km²、人口密度は228人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 宮古の総人口は2025年に48千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に43千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の7千人が、2025年にかけて7千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には10千人へと増加する(2025年比+43%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 宮古の一人当たり医療費(国保)は246千円(偏差値32)、介護給付費は422千円(偏差値95)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 宮古の一人当たり急性期医療密度指数²は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.39で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。宮古には、年間全身麻酔件数が500例以上の沖縄県立宮古病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 宮古の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、793人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が516床(偏差値58)、高齢者住宅等が277床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、744人(75歳以上1000人当たりの偏差値71)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設71、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住61である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値70と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、309人(75歳以上1000人当たりの偏差値101)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-7%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宮古医療圏の総人口は、2005年54863人が、2015年に51662人と6%減少し、2025年の人口が48460人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

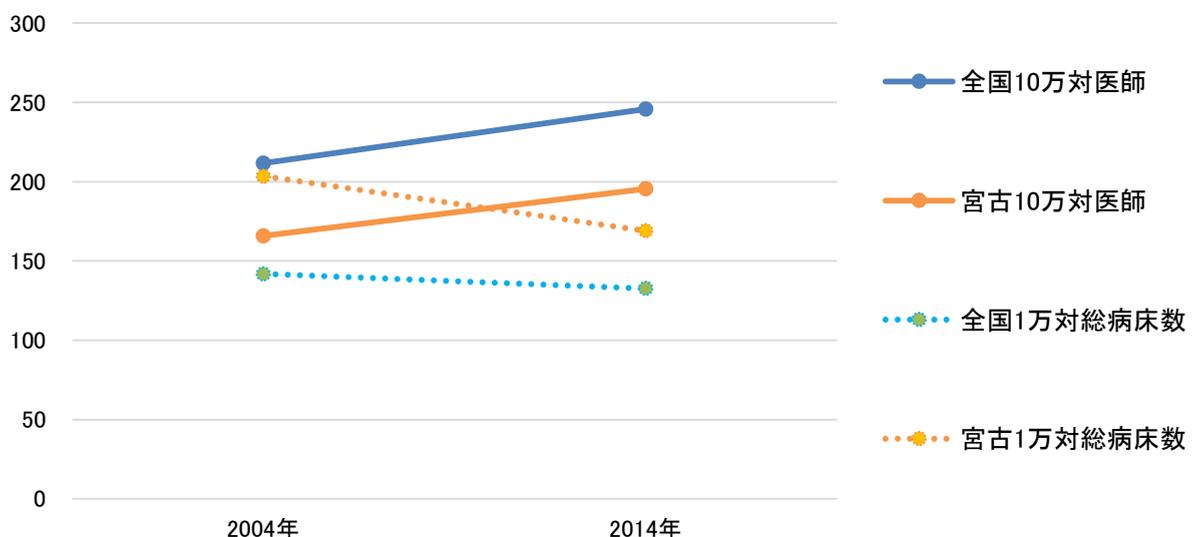
2004年の病院数が4(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に4(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が35(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に37(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が1116床(人口1万人当たり203(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に873床(人口1万人当たり169(全国平均133)偏差値56)と、243床の減少、率にして22%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

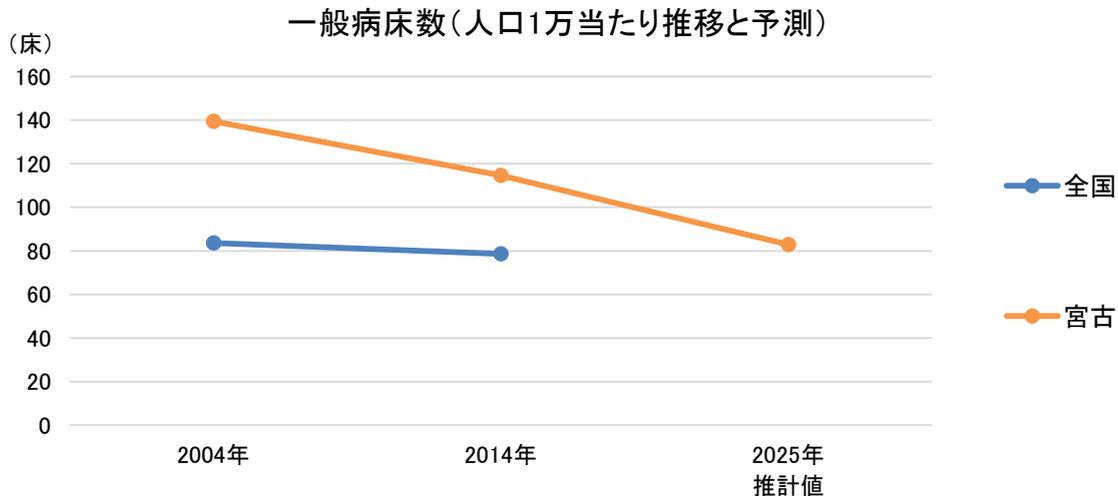
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が91人(人口10万人当たり166人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に101人(人口10万人当たり196人(全国平均246人)偏差値45)と、10人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



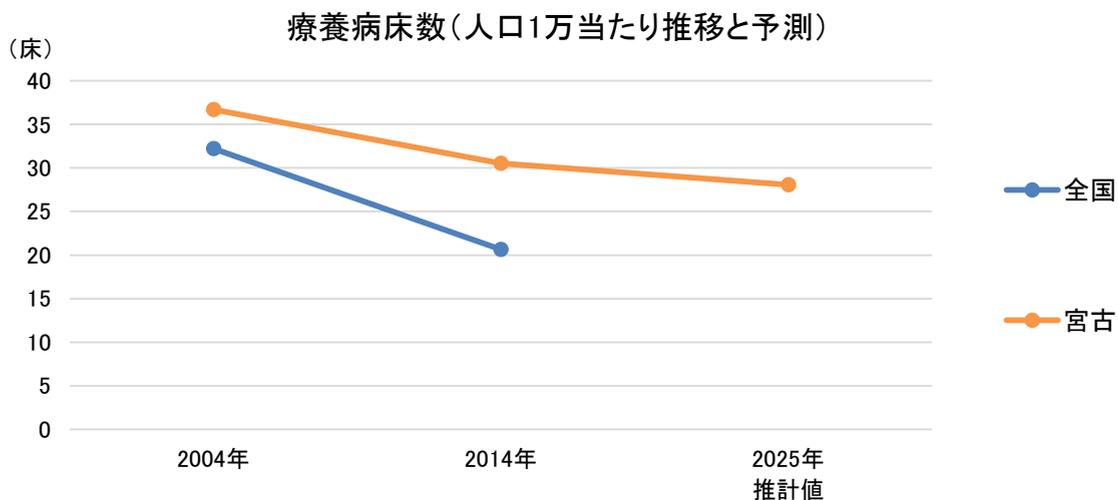
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が765床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に592床(人口1万人当たり115(全国平均79)偏差値63)と、173床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には402床(2025年の推計人口1万人当たり83)になることが予想される。



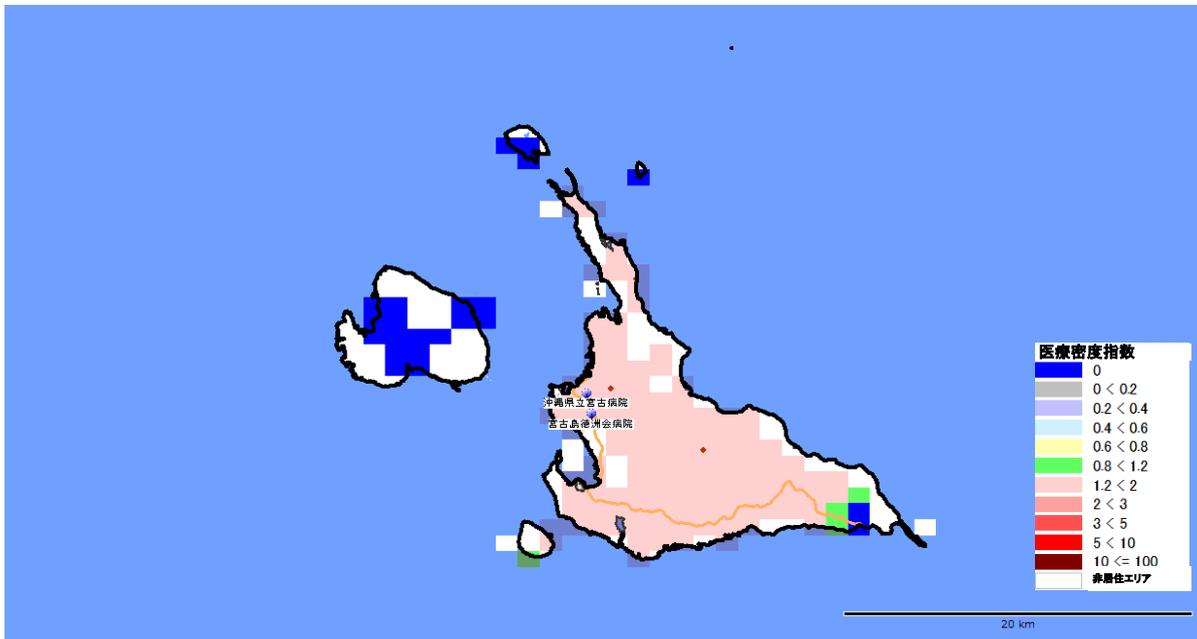
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が241床(75歳以上1000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に226床(75歳以上1000人当たり31(全国平均21)偏差値59)と、15床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には210床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。

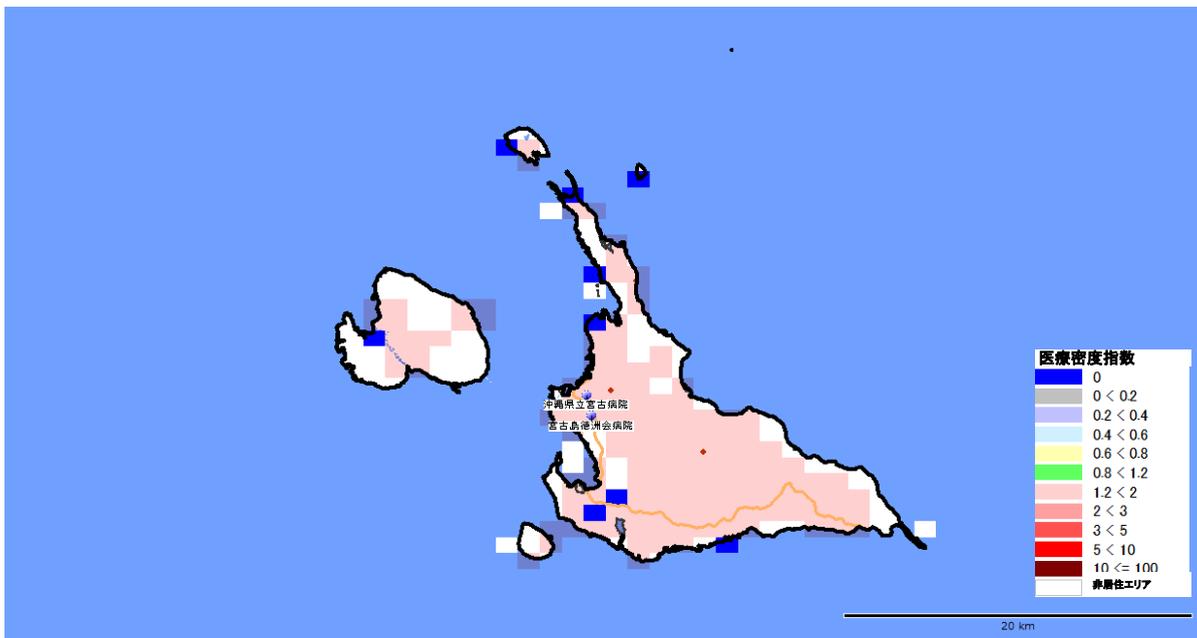


3. 医療密度⁵

図表47-4-1 急性期医療密度指数マップ



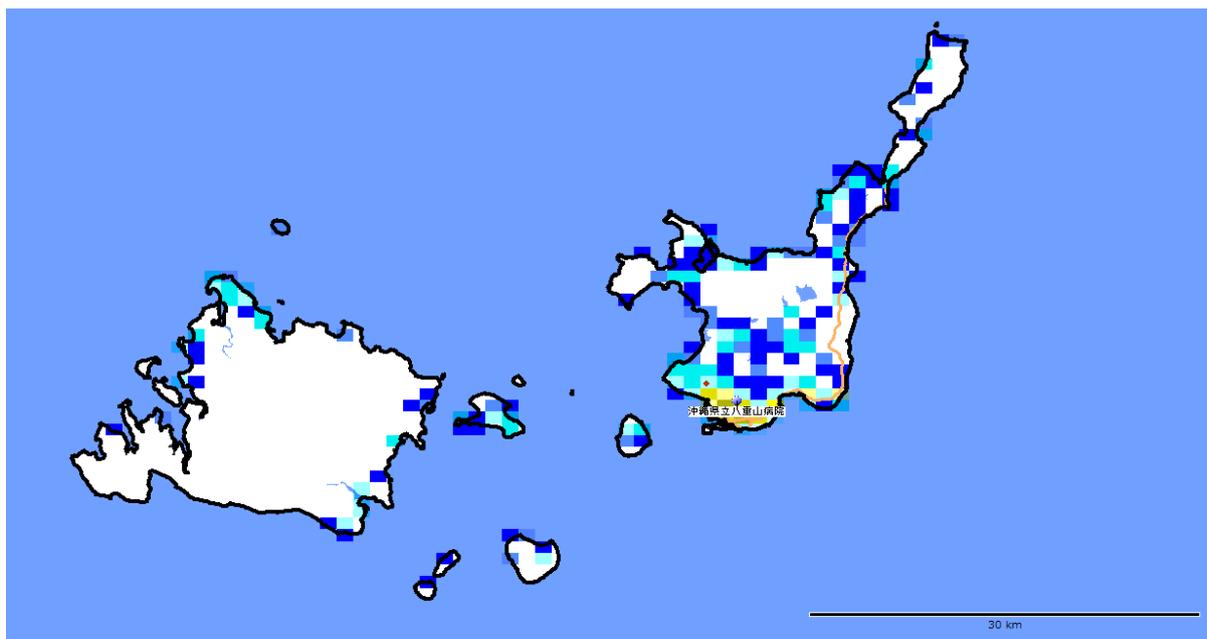
図表47-4-2 慢性期医療密度指数マップ



47-5. や え や ま 八重山医療圏

構成市区町村¹⁰ [石垣市](#) [竹富町](#) [与那国町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(八重山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 八重山(石垣市)は、総人口約53千人(2015年推計)、面積592km²、人口密度は90人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 八重山の総人口は2025年に54千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に52千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の6千人が、2025年にかけて7千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には9千人へと増加する(2025年比+29%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 八重山の一人当たり医療費(国保)は222千円(偏差値27)、介護給付費は343千円(偏差値74)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 八重山の一人当たり急性期医療密度指数²は0.67、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.67で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。八重山には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 八重山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、508人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が336床(偏差値51)、高齢者住宅等が172床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、495人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム83、グループホーム38、サ高住58である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値77と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、79人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-89%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

八重山医療圏の総人口は、2005年51171人が、2015年に53264人と4%増加し、2025年の人口が53669人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

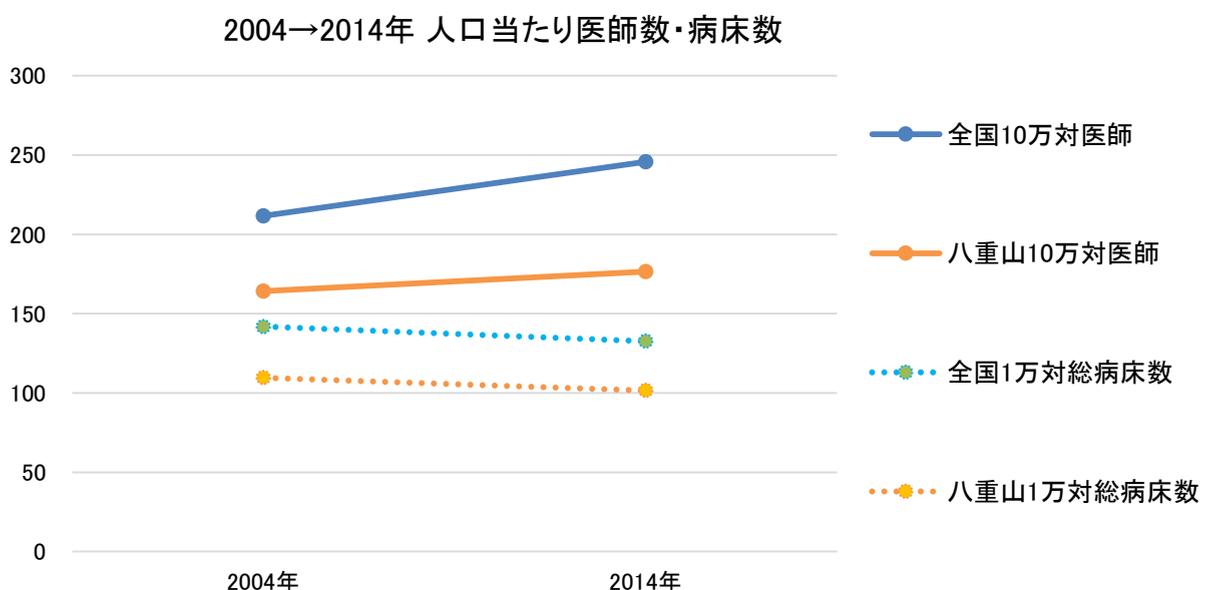
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が3(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に3(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に36(人口10万人当たり68診療所(全国平均79)偏差値44)と、3診療所が増加した。

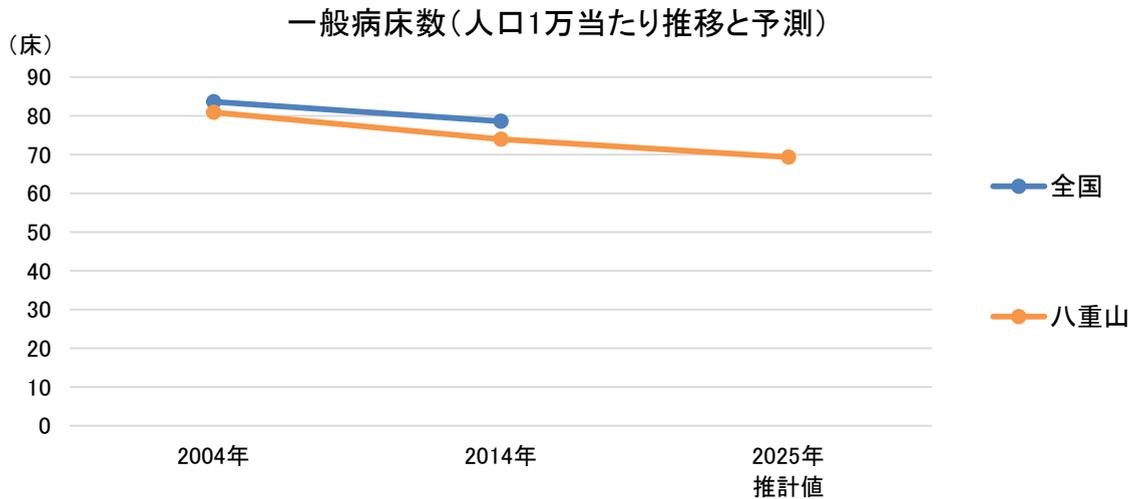
2004年の総病床数が561床(人口1万人当たり110(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に541床(人口1万人当たり102(全国平均133)偏差値44)と、20床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が84人(人口10万人当たり164人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に94人(人口10万人当たり176人(全国平均246人)偏差値43)と、10人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



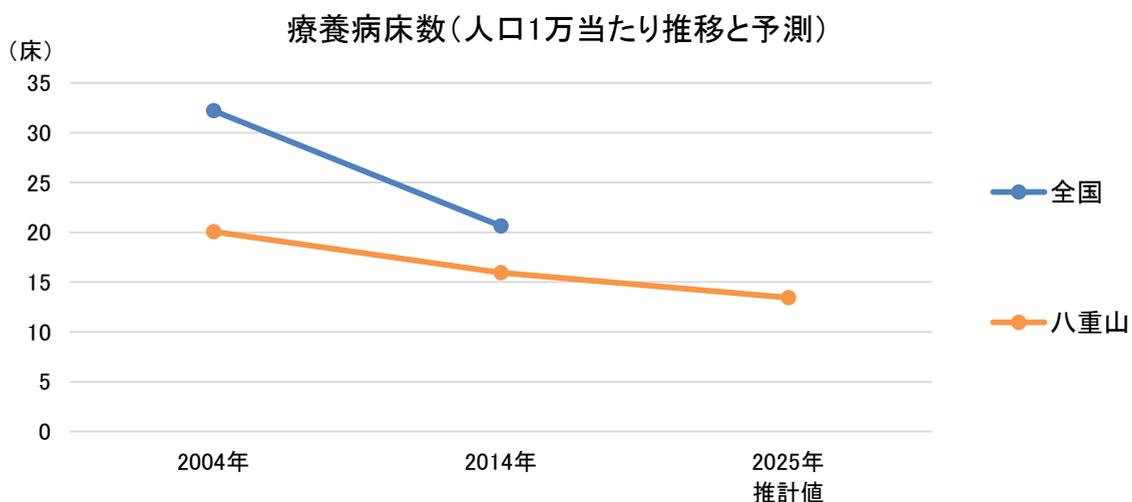
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が414床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に394床(人口1万人当たり74(全国平均79)偏差値48)と、20床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には372床(2025年の推計人口1万人当たり69)になることが予想される。



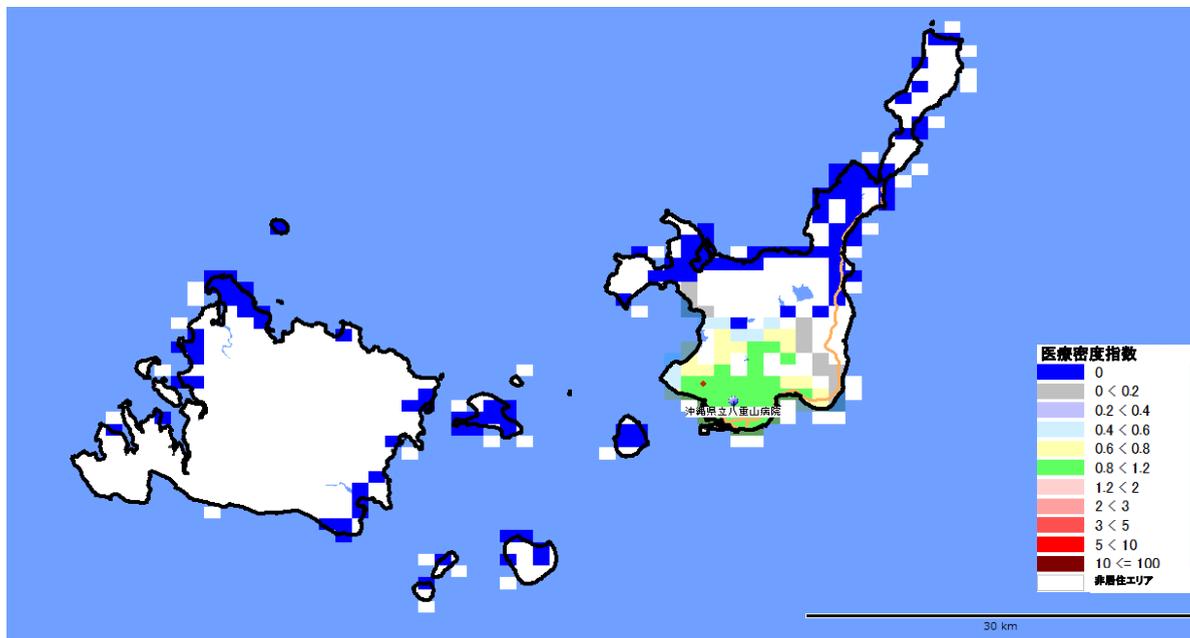
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が88床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に88床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には88床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

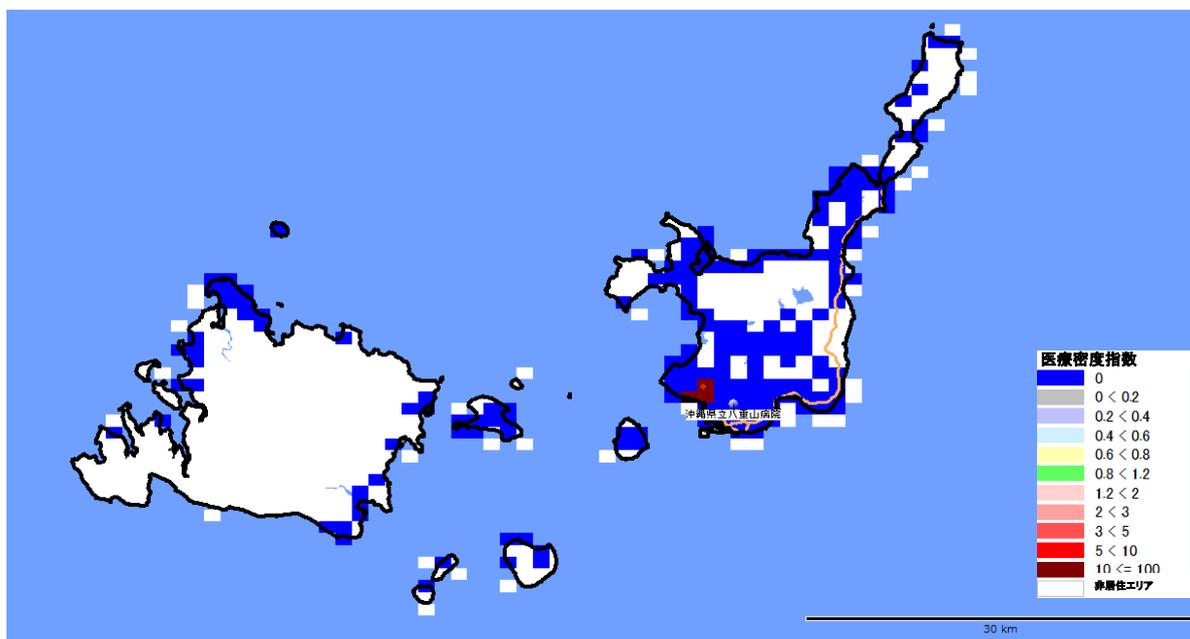


3. 医療密度⁵

図表47-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-5-2 慢性期医療密度指数マップ



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。